

部局名	生涯学習部	所属名	八千代台東南公共センター	所属長名	豊田 道生	電 話	485-6611
-----	-------	-----	--------------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3468		事務事業名称	八千代台東南公共センター維持管理事業					短縮コード	経常	3468	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	04	八千代台東南公共センター費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
市民のコミュニティ活動の推進，教養の向上及び生涯学習の振興を図るため，平成元年より開始。安全性，利便性を確保するための施設の維持管理事業。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
施設が老朽化している。今後は，計画的な修理・修繕が必要。					大項目（節）	05	文化						
					中 項 目	01	市民文化						
					小項目（施策）	01	文化活動の推進						
					細 項 目	02	文化活動の機会の充実						
				実 施 計 画 の 計 画 事 業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～		計 画 事 業 費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	八千代台東南公共センター							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 施設の修繕・清掃							
	※平成20年度に計画していること： 施設の修繕・清掃							
意図 （何を狙っているのか）	施設の安全性・利便性を確保し，利用者が安心して利用できる施設が維持され利用できること。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	1 8 年度	1 9 年度		2 0 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	八千代台東南公共センターの数	所	1	1	1	1	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	年間の開所日	日	345	345	346	345	
	指標 2	修繕の回数	回	5	5	5	1	
	指標 3							
成果指標	指標 1	実利用日数/利用可能日数	%	85	88	80	82	
	指標 2	実利用可能日数/予定利用可能日数	%	85	88	80	82	
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		3468	事務事業名称	八千代台東南公共センター維持管理事業			所属名	八千代台東南公共センター
			単位	１８年度	１９年度		２０年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	12,390	11,774	12,959	10,449	
		その他	千円	0	2,679	1,244	2,443	
	主な事業費の内訳			消耗品費・122千円 光熱水費・5,754千円 修繕料・1,582千円 通信運搬費・34千円 手数料・21千円 保険料・24千円 委託料・4,790千円 使用料・12千円 備品購入費・55千円	消耗品費・122千円 光熱水費・5,670千円 修繕料・2,783千円 通信運搬費・72千円 手数料・21千円 保険料・24千円 委託料・5,749千円 使用料・12千円	消耗品費・122千円 光熱水費・5,848千円 修繕料・3,034千円 通信運搬費・90千円 手数料・0円 保険料・24千円 委託料・5,100千円 使用料・12千円	消耗品費・122千円 光熱水費・5,897千円 修繕料・97千円 通信運搬費・72千円 手数料・21千円 保険料・24千円 委託料・6,647千円 使用料・12千円	
	人件費(B)			千円	4,385.5	4,379.4	4,379.4	
トータルコスト(A)+(B)			千円	16,775.5	18,832.4	18,582.4	17,271.4	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由					
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	・上位の施策である，「生涯学習機会の拡充」を図るために事業を進めているので結びついている。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	・「生涯学習の充実」及び「市民のまちづくりにつながる学習の促進」については，現状では所期目的を達成するため，老朽化した建物の維持管理が必要であり事業を継続していく。					
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	・生涯学習施設であるので，民営化は馴染まない。					
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	・東南公共センターホールを対象に，一般市民の皆さんに生涯学習の機会を持って頂くため事業を行っている。従って，「対象・意図」の設定は現状のままでよい。					
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	機械警備委託，清掃業務委託，管理業務委託については，必要最小限の委託事業であるので，現状では可能性がない。					
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ ＩＴ化等業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☐ 上記以外の方法	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)		
			2			実施主体 (所管部署)			
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
			☐ ない						

コード	3468	事務事業名称	八千代台東南公共センター維持管理事業				所属名	八千代台東南公共センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善☐ 事業規模の拡大・縮小☐ 統合・役割見直し☐ その他 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 現状のまま継続			・平成元年築のため、建物全体の老朽化が進み利用者の安全性・利便性を確保し、利用者が安心して使用できる施設を維持するため、今後も当分の間現状で事業を継続する。			
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。	経費 削減 不変 増加 成果 向上 不変 低下		・ホールも備品等の修理については、可能な限り職員が行うことにより、経費の削減を図ってきているが、築20年が経過し、建物全体の老朽化が進み、保守点検業者よりすでに部品が無く修理が出来ない付属設備もあり今後、計画的に改修・修繕をして行かなければならないため、今後暫くは成果・コストは不変であると考える。				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
備品等の充実及び、施設の老朽化への対応。	

所属長コメント	平成元年からホールが使用されており、２０年を経過した現在、利用者の目的及び利用価値が変化しており、時代に見合った施設の改善を見直す時期にきていると考える。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善☐ 事業規模の拡大・縮小☐ 統合・役割見直し☐ その他 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 現状のまま継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。